

富士市立高等学校 学校運営協議会		第15回	会議要旨 (平成29年度)
開催日 平成30年2月7日 火曜日 開 会 18時30分 閉 会 20時35分	会議場 富士市立高等学校 2階 P I R ルーム		
出席委員 【委員】 工藤千麻琴 櫻井 正人 塩田 真吾 鈴木 愛美 土屋 悦美 畑 隆 山田 雅彦 矢崎 進 岩田 享 味岡 俊雄 石村 俊樹 【オブザーバー】 安倍 徹 沼里 智彦			
開会			
○会長あいさつ ・本日は「学校評価」という重要な議題がある。 ・1年間の市立高校の活動を思い起こし、学校の説明を伺いながら、各委員の意見を伺いたい。			
○副会長あいさつ ・今年度本校は、穏やかに、特に重大な問題を抱えることもなく、無事に歩んでくることができた。本当によかったなという思いがする。 ・現在の心配ごとは、富士市内16校で、今の高校1年生の世代と比較して、今の中学校3年生の生徒は、112人減少していくということで、次年度は更に現在の中学校3年生の人数から120名を超える人数が減少し、この傾向はその後も続くことが見込まれている。 ・中学校訪問の充実、ホームページの改良、近隣中学校と合同文化祭の開催、本校の人工芝で地元の幼稚園児の遊びの場の提供等の活動が効を奏したためか、今年度本校の志願者数が若干増えている。 ・本日は、学校経営計画の評価をいただき、次年度の学校経営計画並びに学校推進に繋げていきたい。			
議事の概要			
○学校からの報告 ◇進路決定状況 ・1月31日現在で国公立大学には5人合格している。昨年度比は-1人となっている。 ・私立大学は、延べ70人が合格し、昨年度比較は+7人である。 ・短期大学は延べ25人で、昨年度比+8人である。			

- ・専門学校は延べ67人で、昨年度比+2人である。
 - ・就職は36人が内定を得ており、これは昨年度と同数となっている。
 - ・公務員は今年度6人の合格となり、昨年度比較+5人となっている。
- ◇海外探究研修について
- ・今年度12月3日から12月8日まで、6日間かけて2年生が海外探究研修を行った。
 - ・総合探究科は、アメリカのボストンに行き、ハーバード大学、タフツ大学、ノースイースタン大学を訪問し、大学生と交流した。生徒のアンケートの結果は、一部を除き、満足度は非常に高い水準となっている。
 - ・ビジネス探究科は、例年どおり台湾を研修地とし、台湾森永製菓、ケーブルテレビの最大手企業TVBS等を訪問し、また私立泰北高級中学（高校）との交流を行った。生徒へのアンケートによる全体の満足度は、91%となっている。
 - ・スポーツ探究科は、昨年度のドイツ・オランダからオーストラリア・ゴールドコーストに研修地を変更した。日本ではなかなかできないオーストラリアフットボール、クリケットなどのスポーツ体験ができた。生徒へのアンケート結果では、概ね良好で、一部「2」の評価についても、プログラムに不満があったというよりも、もう少し長い時間やってみたかったという意見であった。
- ◇部活動の主な実績について
- ・資料には平成29年4月から平成30年1月までの期間における本校部活動の主な成績を掲載している。全国大会出場、東海大会、県大会出場の順に記載している。
 - ・平成29年度は、陸上部、柔道部、チアリーダー部、報道部及び吹奏楽部が全国大会に出場することができた。
 - ・吹奏楽部は、昨年秋の東部地区大会吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞し、県大会でベスト4に入り、長野県で行われた東海大会に出場した
 - ・チアリーダー部は、1月に全国高等学校ダンスドリル選手権冬季大会に出場した。
 - ・女子バレーボール部は、1月に開催された県東部大会で準優勝し、県大会に出場した。
 - ・サッカー部は、1月から開催されている新人大会で東部地区大会を制し、東部1位で県大会に進出している。
- 学校評価について
- ◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について
- ◇学校自己評価について
- (資料をもとに、アンケート結果及び評価について説明)

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)	・アの3番目の midpoint の健康観察調査について、黒板に記入して、パソコンにも入力して生徒の健康データを把握しているの、A評価でよいと思う。学校で自己評価をB評価としたのはなぜか？
(回答)	・健康状態の把握及び入力は、午前10時までに完了し、その内容を保

	<p>健室の養護教諭が集約することになっている。朝の段階での徹底ができず、遅くなってしまったのでB評価とした。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業到達率」の概念について、どんなふうに計算して算出しているのか、という点について説明してほしい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・代々木ゼミナールが実施している教員評価アンケートで、生徒に7項目からなるアンケートを実施している。例えば先生の話し方は分かりやすいか？黒板の板書は見やすいか？情熱をもって生徒に接しているか？事業を聞いて効果があったか？など7項目の質問があり、それぞれを点数化している。指標としては75ポイントを目標とするようになっている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・シの広報の強化のところ、ホームページの更新がA評価であるということはすごく意義のあることで、これは昨年度の指摘を踏まえて、改善をされた点で、素晴らしい点だと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アの「朝読書で学期1冊を読破した」ということは、この達成状況から見る限り評価はAでもいいと思う。むしろ目標を変えた方がいい気がする。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・同じアの一番最後の成果目標の「平均2時間以上の家庭学習時間確保」がB評価だが、ややC評価に近いB評価かなと感じる。保護者のアンケートを見ても、学力向上を期待しているところに関してやや低いという数値が出ており、年々上がっているとはいえ、生徒はアンケート情報を見ると週に5日以上家で勉強している子が2.5ポイントというところを見ると、着実に上がってきているとは思いますが、このあたりはもう少し頑張るという意味を含めてB評価、もう少し重点的に取り組んでいく必要があると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の出し方が偏りすぎてはいないか？宿題を大量に出す先生と、宿題が全く出さない先生との差がありすぎていて、毎日2時間の家庭学習時間につながらないような気がする。宿題の量がばらばらというのは、各先生方で話し合っ平均的に出しているかどうかということを知りたい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の課題の量というのは、各授業担当で出しているのですが、教務課で把握できていない部分が多くある。夏休み等の長期休暇に課す宿題に関しては、各学年主任が各教科によってどれくらいの量が課されてい

	<p>るかということ把握して、生徒にもそれを提示している。今後も毎日の課題の量を調査していく必要があると考えている。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・シの「広報の強化」のところで、例えば市立高校の校長、教頭が中学校に来て、直接話をしてくれているので、中学校の職員の話では、富士市立高校というのはそんなに先進的なことをやっているんだ、と非常に意識が変わったので、中学校訪問の実施の評価は、A評価ではないかと思う。昨年度よりも中学校の先生の市立高校についての理解が深まっている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の立て方として、例えば、「授業到達率が昨年度より上がった教員が30%以上」というような指標の立て方は、毎年30%以上引き上げるということは、際限なく引き上げていくということになるので、生徒の満足度が何%というような形で目標を立てていった方がよい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料27ページの生徒のアンケート結果を見ても、例えば週に5日以上勉強しているという質問に対する3年生の平均が2.4だが、この3年生は平成28年度には2年生だったわけで、その時の平均は2.3、1年生の時には2.2だったということで、着実に意識化は進んでいる。例えば、学校行事に満足しているという質問についても、3年生の数値が3.2と一番高く、1年生は3.1、2年生は中だるみのためか3.0となっている。特にキャリア教育という視点から「自分の将来に対する、はっきりした夢や希望を持っている」という11番目の質問については、現在の3年生は、1年生の時には平均3.0で、2年生の時には平均2.7だが、3年生の時に3.2という数値になっているのは、市立高校の先生方の意識付けだとか、教育のプログラムが適切に行われている証拠で、自分の将来を見据えて子どもたちがその目標に向かって頑張っている証拠ではないかなと思う。1年生、2年生、3年生と進級するごとにほとんど数値が、同じか上がっているというのは、3年間で中学から市立高校に進学した子どもたちが育てられている証拠だと思い、自分自身この学校評価アンケートの結果を見て嬉しいなと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するアンケートの質問は「～が適切に行われているか？」という質問内容になっているが、この質問はもういらぬのではないかな、保護者は学校での指導のことはよく分からないのではないかな、という気がしており、なんの根拠もなく、第一感で評価しているのではないかと思う。実際に3年間生活をしている生徒がどのように感じ

	たかということの評価の基準とした方がいい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修については、事前の準備も行き届いているようで、充実した研修になっているのかなと感じている。当たり前のことかも知れないが、子どもたちにとっての海外研修であり、かつ、先生方にとっての海外研修というか、自分の教育のあり方なり、日本の教育のあり方なりを海外に行つて相対化してみるという、そういう意味でも非常に貴重な経験になると思うので、予算の許す限り、たくさんの先生に行つて来ていただきたい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> アンケートについては、平均点という数値で全体を把握できるものと、必ずしもその平均点で実情が把握できないものがあるのではないかと思う。具体的に言うと、4段階評価で評価1と評価4が多い平均2.5の評価と評価2と評価3が多い平均2.5とでは、意味合いが違う。回答の分布状況を見ながら、4と1が多い2.5なのか、その辺を分析していく必要があると思う。例えば、部活動の満足度については、その県大会に進出している部活動が満足度が高いのか、必ずしも県大会まで進出しなくても一生懸命みんなで頑張ったので満足度が高いのか、県大会に進出している部活動でも1が多くて、4も多いとか、いろいろバリエーションがあると思うので、そうした分析が必要かと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価で唯一D評価となっている交通安全については、子どもの命というのは、何よりも大切にしなければいけないことで、また、一瞬のことでもある。是非命を守る教育というのを継続的にやっていただきたい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 海外探究研修から帰ってきた後の事後報告もやっているかと思うが、例えば、それぞれの学科の生徒は、もちろん自分で行つて成果が出るのかと思うが、富士市立高校には3つの大きな学科があるというので、他の学科の研修の成果を聞けるような場面ができると、全校生徒でそれぞれの成果を共有できるようなことができると、もっと効果があると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 学校での活動に地域の人材とか、外部の人材の力も借りていくというような視点が入ってくると、もっといろんな項目が向上していくのかなとも思う。静岡県教育大綱の中でも、社会総がかりの教育を実現していこうというのは、まさにそういう視点であつて、学校だけで頑張るというよりは、地域の大人の方をもっと巻き込もうというような

<p>(質問・意見等)</p>	<p>ことも言われている。こうした形で地域の人材、外部の人材が活用できれば、先生も含めてもっといろいろな形でたくさんことができると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均2時間以上の家庭学習というのが、難しい部分もある、生徒の負担になるところもあると思うのが、運動部で部活動をやっている生徒は、部活動が終わって帰宅するともうくたくたで、宿題をやって終わりみたいなどころがあるのと、家庭学習のアンケート結果の数値が少し低い、学校に行って、部活動をやった、くたくたのまま、その後家に帰っても、なかなか自宅で学習はできないと思うので、その時点でサテライト学習をやったりすると、帰りも遅くなってしまい、高校生は非常にきつい生活をしていると思う。テスト前に少し勉強ができるのは、部活動がないからだと思う。現在、サテライト学習がどのくらいの日数、どのくらいの教科でやっているのか、変わっているかもしれないのでわからないが、サテライト学習については、検討の要があると思う。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> サテライト学習を開始して最初の2年間は放課後に実施していた。その後、土曜日実施に変更した。現在は、当時に比べれば生徒の負担は軽く、部活動で遅くなるということはあるかと思うが、勉強時間の確保については非常にやりやすくなっているのではないかと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料31ページのウ「高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績」で、ある意味、自画自賛的になっていないところがいいと思う。つまり、進学や就職の点で成果が出ている、だからそれらはすべてA判定だ、なんてことにはなっておらず、進学のところではB評価として、もう少し上のところを目指すべきということ意識しつつ、現状ではB評価ぐらいではないかということ、そうした評価がされているというところがよい。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 就職面は中身を見るとよくて、A評価としても問題ないと思う。進学のところではいまひとつということで「B」と自己評価しているところがよい。
<p>閉会</p>	